

誰もが知りたかった!

iモード対応 ホームページ 改造術

！ 勝手サイトのメジャーを目指せ

登場からたった1年半で900万以上のユーザーを獲得した iモード。だれもが、いつでもどこでも気軽にウェブをチェックできる時代になった。これを見逃す手はない。ホームページ作者にとって、iモード用のページを作ってこの巨大なターゲットにアピールすることはもはや常識だ。

すでに数多くのiモード対応ページが登場しているが、まだ作っていない人でも遅くはない。この記事を読めば、サイトの設計のしかたから、アクセス数をアップさせる方法、効果的に運営する方法まで、すべてがわかる。

ギガフロップス株式会社 中村 陸 + 今井大介

携帯電話コンテンツプロデューサー会社ギガフロップスを経営する中村と、コンテンツクリエイターのコミュニティ「ギガヘルツ」を運営している今井。ギガヘルツでは、メンバーリストのほか、月1回のワークショップ（勉強会）が開かれ、活発な活動が行われている。iモード、J-Sky、EZウェブ対応のサイトを作るうえで必要な情報のほとんどがギガヘルツに集まっている。コミュニティへの参加は無料。

ギガヘルツ  gigahz.net

Photo:Nakamura Tohru



iモード対応HTMLを復習しよう。

本誌で何度も紹介してきたように、iモード用のコンパクトHTMLは、HTML 4.0の機能縮小版だ。普通にウェブページを作れる人なら、特別に覚えなければいけないことはほとんどない。一方で、制限されたサイズや機能の中でやりたいことを実現するために、いくつか気にすべきポイントも存在する。もう一度iモードでは何ができるかを確認しよう。なお、全タグのリファレンスはP.229に用意した。

色も使える

```
<BODY bgcolor="#FFFF80"
text="#000000" link="#FF00FF">
```

もっとも簡単に「カラー対応」のページに変身するには、ページの背景色と文字色を指定すること。白黒の機種には当然影響はないから安心だ。

テキストは少なめに

メニューを作るときは横8字に収まるように工夫しよう。1ページの大きさは、タグと画像を含んで5Kバイト以内。トップページは、できれば2スクロール以内にするのが、ユーザーにとって便利だ。

携帯ならではの機能

数字キーと連動するリンク

```
<A href="/gar.html" accesskey="1">
```

電話をかけるリンク

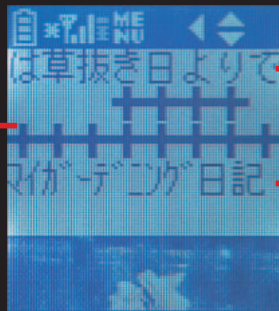
```
<A href="tel:090*****">
```

電話をかけたり数字キーと連動したりする携帯電話ならではの機能は本当に便利だ。活用できるページでは積極的に使おう。

フォーム

```
<FORM method="get"
action="http://www.gigahz.net/
g_code.cgi">
<INPUT type="text" istyle="4"
name="G_CODE">
<INPUT type="submit"
value="Go!"></FORM>
```

インタラクティブなページを作るには、入力項目を送信するフォームは必須。テキスト入力やチェックボックスなど<INPUT>タグの種類はほとんど使用できる。ただし、ボックスの数は1ページ内で最大10個まで、プルダウンボックスは最大32項目までという制限あり。

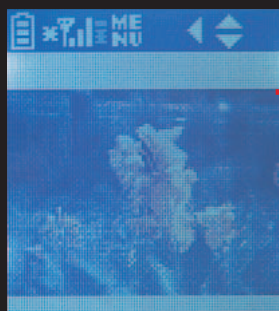


マーカーとブリンク

```
<MARQUEE>今日は草抜き日よりですネ
</MARQUEE>
```

```
<BLINK>マイガーデニング日記</BLINK>
```

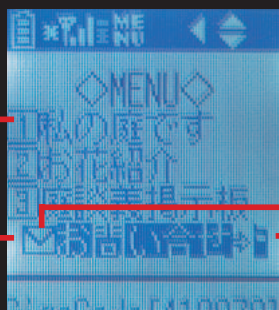
文字をスクロールさせたり点滅させたりする機能で、ともに502iシリーズから採用された。209iシリーズでも動作する。



画像はGIF形式

```
<IMG src="flower.gif"
width="96" height="72" border="0">
```

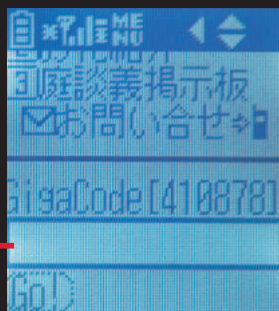
どのiモード端末からも見ることができるのは白黒2値のGIF画像だけ。502iシリーズ以降のカラー端末は、256色GIFまで表示可能だ。P502iやN502iのように白黒4値まで表示できるものでは、カラー画像を見たときにはある程度自動的に処理して表示されるが、真っ黒につぶれてしまうこともある。



絵文字

```
&#63863;
&#63858;
```

限られた文字数と画面サイズの中で精一杯ユーザーに意味をアピールするには、絵文字を使用すると有効だ。絵文字を使ったページを作るためのPC向けソフトウェアも数多く存在している。





iモードのための サイトデザイン

サイトを作るということは、情報を提供していくということ。効率よく的確に情報を提供していくためには、事前に全体の構成をよく考えて配置することが必要だ。特に制限の多いiモードサイト作成の場合は、文字量などを考慮して、すでに作ってあるページを分割するなどの工夫をしよう。

ベストなテキスト量は

ページの大部分を占めるのは、やはりテキスト。読みやすくするためには、スクロールの量と、文字の横幅には特に気を使うべきだ。現在すべてのiモード端末から見ることができる1ページの最大サイズは、画像、タグすべて合わせて5Kバイトまで。単純に文字だけで埋めるなら、5000文字近くまで表示できる。しかし、iモードではスク

ールして画面の文字を読むのはつらいので、5画面以上スクロールする必要があるような長いページは避けたほうが無難だ。また、横は8文字または10文字で折り返す機種が多いので、文章も短い文が並んでいるほうが読みやすい。英文は単語の途中で折り返されるので、英語ページを作る人は適当なところで改行を入れよう。

機種名	1画面に表示できる文字数	画面サイズ	カラー
F501i	48文字(8文字×6行)	113×112	白黒2色
D501i	48文字(8文字×6行)	96×108	白黒2色
N501i	100文字(10文字×10行)	160×120	白黒2色
P501i	80文字(8文字×10行)	150×100	白黒2色
F502i	48文字(8文字×6行)	108×96	カラー256色
D502i	56文字(8文字×7行)	120×100	カラー256色
N502i	100文字(10文字×10行) 120文字(15文字×14行)	160×120	モノクロ4階調
P502i	80文字(8文字×10行)	120×100	モノクロ4階調
NM502i	48文字(8文字×6行)	111×120	白黒2色
SO502i	56文字(8文字×7行) 120文字(12文字×10行)	120×120	モノクロ4階調
SH821i	48文字(8文字×6行)	96×108	カラー256色
F209i	56文字(8文字×7行)	96×108	カラー256色
N209i	54文字(9文字×6行) 104文字(13文字×8行)	108×82(時計表示OFF時)	モノクロ4階調
P209i	48文字(8文字×6行)	120×100	モノクロ4階調
D209i	56文字(8文字×7行)	120×100	カラー256色

❗使えないタグは？

iモードのコンパクトHTMLでは、226ページのタグリファレンスにないタグは基本的に利用できない。使えないタグも5Kバイト制限の対象となるため、余計なタグはテキストエディターなどで削除したほうがいい。

<TABLE>(表組み)：NTTドコモは公式に認めていないが、利用できる機種は多い。「P」で始まる機種などでは利用できない。

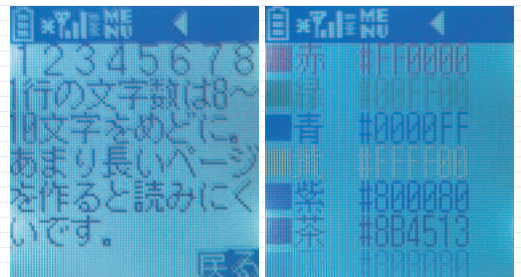
<FRAME>(フレーム)：フレームは完全に利用できない。しかし、<NOFRAMES>タグでiモード用ページを記述するという裏技的な利用が可能だ(右ページ参照)。

<MAP>(イメージマップ)：iモードではイメージマップは利用できない。

フォントに関するタグ：iモードのフォントは基本的に1つだけなので、<H1>タグ、</>タグ、タグなどは文字のサイズや形に影響しない。タグはcolor指定のみが有効となる。

色は味付け程度に

502iシリーズからは、一部の機種でカラー液晶が採用され、画像をはじめテキストや背景にも色を用いることが可能となった。自分のサイトを目立たせるためにも、カラフルな画面にしたい。テキストや背景の色は、普通のHTMLと同じで、<BODY>タグやタグで「#RRGGBB」形式で指定する。詳しくは全タグリファレンス(P.229)を見てもらいたい。カラー画像についてはP.226で詳細に説明する。まだ半数以上のユーザーは白黒またはグレー表示の端末を使っている。色に頼ったサイト設計をするのは禁物だ。また、機種によって256色のカラーパレットや液晶の色味が違うので、期待どおりの色を出すのは難しい。iモードでのカラーは「味付け」程度に考えておいたほうがよいだろう。



Nで始まる機種を除いて、横のタグで文字色を指定した例。パソコンのようにはっきりと表示されるわけではない。



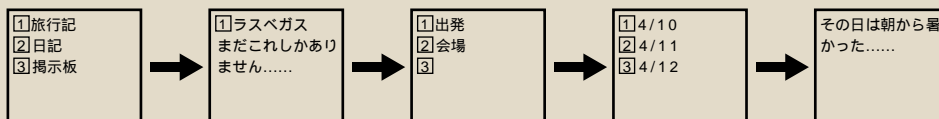
上手なメニューの作り方

コンテンツが増え、サイトが大きくなるに従って、メニューを工夫してユーザーを上手にナビゲートする構成が必須になってくる。iモードはパソコンに比べて反応速度が遅く、**パケット課金**（送受信したデータの量で課金）のため、あまり階層の深いメニュー構成はおすすめされない。コンテンツ本体にたどり着くまでに、トップページからの距離は3画面が限界と考えたほうがよい。トップページまたはサブページの直下にコンテンツを置こう。

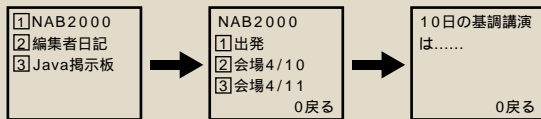
メニューの表記は、どういったコンテンツがあるかを明快に言い表して、必要最小限の文字数で内容を伝える必要がある。メニュー画面もできるだけスクロールは少なくして、1.5画面以内に収めるほうがユーザーにとって使いやすい。メールや電話では絵文字（P.227参照）を1つ貼っておいて、そこにリンクするだけで文字数の節約になる。

同じURLでパソコンとiモードからアクセス

× 階層の深すぎるメニュー構成



明快的なメニュー構成



全ページで「戻る」はアクセスキーの「0」に割り当てるなどのルールがあると使い勝手はさらによくなる。

管理しやすいディレクトリー構成

コンテンツを構成するファイルが増えてくれば、サーバー上のディレクトリー（フォルダー）に分類して、わかりやすく管理することが必要になる。しかし、ディレクトリー階層を作っていくにつれてURLは長くなりがちだ。URLが長くなるとユーザーに覚えてもらいにくくなる。階層が深くなるにつれて、リンクの指定の文字列もついつい長くなりがちで、慣れないと管理がかえって面倒になってくる。

ディレクトリーで切り分けるのではなく、ファイル名で切り分けることも工夫の1つだ。たとえば、あるジャンルのコンテンツにかかわるファイルはすべて半角数字の1から始まり、管理用画面などのファイルはすべて0から始まるなどの工夫をするだけで、1つのディレクトリーにファイルを全部入れていてもなんとか整理はつくものになる。

また、パソコン用ページも作っているのであれば、iモード用ページはすべて「i/」の下に置くというのが定番で、推奨されている構成だ。

× 深すぎるディレクトリー

http://www.***.ne.jp/taro/i/restaurant/tokyo/kichijoji/4.html

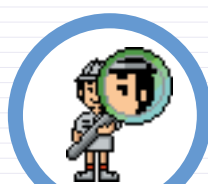
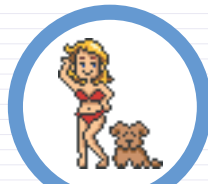
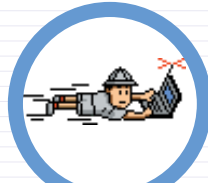
ファイル名を工夫した例

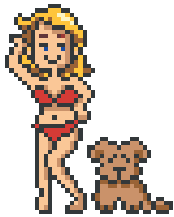
http://www.***.ne.jp/taro/i/2r1354.html

! 同じURLでパソコンとiモードからアクセス

パソコン用のページをフレームで見せることにすれば、iモード用とパソコン用のトップページを同じURLにできる。iモード用のページを<NOFRAMES> ~ </NOFRAMES>の間に記述すれば、パソコンからは見えなくなる。

```
<HTML>
<HEAD><TITLE>          のページ</TITLE></HEAD>
<FRAMESET cols="100, *">
<FRAME src="left.html">   パソコン用のページ
<FRAME src="right.html"> パソコン用のページ
<NOFRAMES>
<BODY bgcolor="#FFFFFF">
ここにiモード用のページを書きます.....
</BODY>
</NOFRAMES>
</FRAMESET>
</HTML>
```





部品を組み合わせ 魅力をアップ

iモードでは通常のブラウザ同様に画像が扱えるほか、iモードならではの絵文字も表示できる。またCGIを使えば自分のページに掲示板も設置できるが、掲示板サービスを利用すると簡単だ。これらの部品を効果的に組み合わせ、魅力あるページを作ろう。

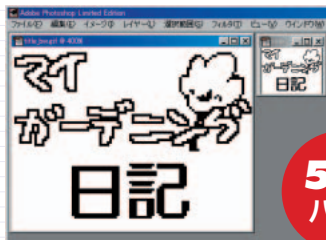
iモード用画像完全ガイド

iモードで扱える画像はGIF形式だけだ。色に関しては、「256色カラー」、「グレースケール」、「白黒2色」の3種類が使える。画像サイズは、全機種で見えることを考慮するなら横94×縦72ドット以内が目安。また、1画面で5Kバイト以内という制限があるため、画像も5Kバイトを超えてはならない。iモードはバケット量で課金されるので、何度も訪れるトップページなどの画像は、ユーザーの負担を考えてできるだけ小さいものを使おう。

カラーと白黒などGIFの形式によって、表現の得意不得意がある。できるだけ小さくなる画像形式を用途に応じて選べばよいだろう。一般的に、カラー画像よりも白黒画像のほうが小さく、写真よりもイラストのほうが小さくなる。カラー画像はサイトに華を添えることができるが、全機種対応ではないことを考慮し(右の表を参照)、必要に応じて利用するようにしよう。

機種名	端末画面表示	白黒2色画像	グレースケール画像	カラー画像
F501i、D501i、N501i、P501i、NM501i	白黒2色		ディザ表示 (やや良好)	ディザ表示
N502i、P502i、SO502i、N209i、P209i	モノクロ4階調			ディザ表示 (やや良好)
F502i、D502i、SH821i、F209i、D209i	カラー256色			

白黒2色



572
バイト

白黒2色の場合は簡単な線画がもっとも適している。色数を落とすと言うより、最初から白黒2色で作ろう。

カラーのイラスト



1.37
kバイト

イラストの場合は使用する色数を絞って作成することで、小さなファイルで高い効果をねらえる。

白黒の写真



606
バイト

写真を白黒2色で利用したい場合は、まず背景などを消去し、コントラストをやや高めに調整する。ペイントソフトで減色するときには「ディザ」を選択しよう。

アニメーションGIF



4.02
kバイト

502iシリーズからはアニメーションGIFも利用可能。5コマまでのアニメーションが表示できるが、5Kバイトの制限は同様に受ける。普通のアニメーションGIF制作ソフトを使えば作れる。

256色の写真



2.00
kバイト

携帯の液晶では彩度が落ちる傾向がある。やや彩度を上げてから減色するとよい。iモード用パレット「Jump」で減色していない場合は自動的にディザ表示となり画質が落ちる。

[Jump 0178.com/document/color/](http://jump.0178.com/document/color/)



! 絵文字はこれだけ覚えよう

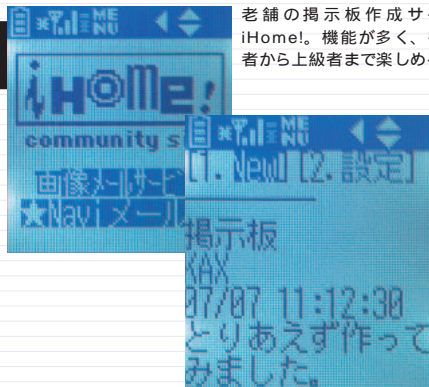
iモードでは絵文字といわれる外字が利用可能だ。絵文字の入力はiモードからなら簡単だが、パソコンでウェブページを作るときはやや面倒だ。ページ中に「&#数字;」と絵文字のコードを記述すれば絵文字を利用できるが、P.230で紹介しているホームページ作成ソフトを使うのが簡単だ。代表的な絵文字のコードには次のものがある。

	 電話		黎 数字 3		秊 うれしい顔
	 携帯電話		力 数字 4		練 怒った顔
	 ハート		曆 数字 5		聯 落胆した顔
	 スペード		歷 数字 6		輦 悲しい顔
	 ダイア		轢 数字 7		蓮 ぶらぶら
	 クラブ		年 数字 8		鍊 るんるん
	掠 iモード		憐 数字 9		咽 キスマーク
	亮 メール		戀 数字 0		烈 びかびか
	女 サーチ		撚 ハート		裂 ひらめき
	廬 New		漣 揺れるハート		捻 ムード
	驪 数字 1		煉 失恋		簾 眠い
	麗 数字 2		璉 複数ハート		聆 決定

掲示板設置でアクセス数アップ

ユーザーは新鮮な情報を求めている。常連ユーザーが付くことでアクセス数アップをねらうために、最低1日に1回はページを更新することは当然。しかし、それ以上の更新となると、とても1人の手に負えるものではなくなってくる。そこで、見に来た人に情報を書き込んでもらい、自分以外の力を使ってサイトの情報を更新していくためにも掲示板の設置は必須だ。自分でCGIプログラムを設置する方法もあるが、下の表のような無料サービスを利用するほうが手軽だ。

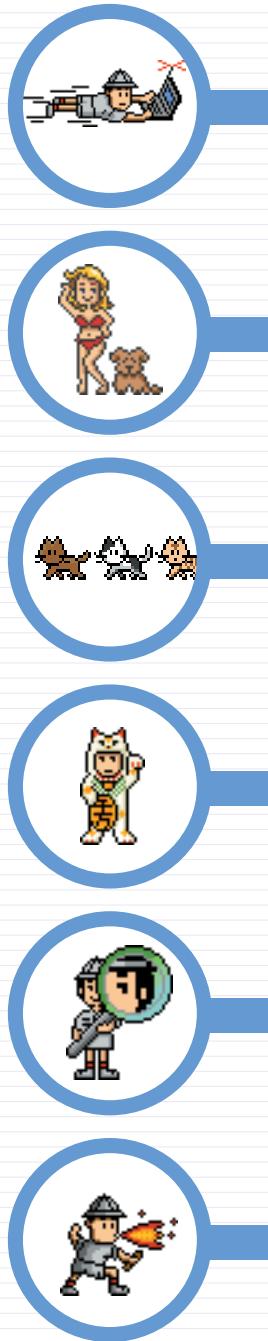
掲示板も作りっぱなしではなく、メンテナンスは常に必要になる。iモードユーザーの中にはメールアドレスを知らせることだけを目的に掲示板を利用する人も多い。そういうユーザーが増えると、どうしても活発なコミュニティはできにくい。そのサイトに合ったテーマを作り、テーマに沿った投稿だけに返信を付けるようにするのがよい。そうすれば掲示板の存在価値も上がるし、荒れる可能性も少しは低くできる。また、個人情報公開されることで掲示板の管理に手間がかかることがあるので、メールアドレスや電話番号などの表示については慎重になったほうがよい。



老舗の掲示板作成サイト iHome!。機能が多く、初心者から上級者まで楽しめる。

iHome!の「ゲストブック」画面。掲示板の設置や投稿にはユーザー登録が必要。

サイト名		ギガコード (P.231 参照)	有料/無料	広告挿入の有無	その他
iHome!	ihome.to	419227	無料	あり	メールアドレス非表示機能あり
魔法のいらんど	ip.tosp.co.jp	419781	無料	あり	メールアドレス非表示機能あり。 荒らしなどには「ボリス」機能も。
iBoard	iboard.to		無料	なし	パスワードアクセス機能あり。 書き込みをすべてメールで送信してくれる機能もある。
テーマ別 BBS	to.sakura.ne.jp/i/bbs/	417925	無料 (実験中)	なし	投稿した記事への返信が付くとメールでも送られてくる。 ほとんどの場所にアクセスキーを設定できる。





待受画面 & 着メロ作成法

iモードページで最近人気のコンテンツが「待受画面」と「着メロ」だ。人とは違う「自分の携帯電話」ということに魅力を感じるからだ。サイトのアクセス数アップのためにも、自分の携帯電話のためにも、待受画面と着メロの作成法は知っておきたい。

N502iMelo Ver.1.3

着メロテキスト形式をmldに変換してくれるソフト。楽譜入力に比べて使いづらいが、フリーソフトウェアで利用が無料なのは魅力。N502iだけでなく全502iシリーズに対応。

作者：ToolSoft
種別：フリーソフトウェア
動作環境：ウィンドウズ95/98/NT 4.0

www.tool.mls.ad.jp

待受画面の画像サイズは

iモード用画像の作成方法は、P.226で触れたとおりだ。どんな機種でも利用できる待受画像であれば、白黒2色で94×72ドットの画像ということになってしまうが、ユーザーとしてはやはり自分の携帯に合ったものを使いたいものだ。機種ごとにサイズがまちまちなので、それぞれの最大サイズで作成したい。また、機種ごとに液晶画面の構成が違っており、アンテナやバッテリーなどが重なって表示されるものもあるので、機種ごとの画面レイアウトまで考慮して作成したい。

実際の表示のされ方は友人に見せてもらうか、雑誌の広告などを参考にするといい。自分のページに載せるときは、普通の画像と同じようにタグで貼り付けよう。ぜひともオリジナルの待受画面で個性を表現してほしい。

機種名	画面サイズ(ドット)	待受サイズ(ドット)	カラー
F501i	113×112	118×84	白黒2色
D501i	108×96	94×72	白黒2色
N501i	120×160	118×128	白黒2色
P501i	100×150	96×95	白黒2色
F502i	96×108	96×78	カラー256色
D502i	96×120	96×120	カラー256色
N502i	120×130	118×114	モノクロ4階調
P502i	100×120	100×95	モノクロ4階調
NM502i	111×120	95×76	白黒2色
SO502i	120×120	120×72	モノクロ4階調
SH821i	96×108	96×78	カラー256色
F209i	96×108	96×78	カラー256色
N209i	110×110	108×82	モノクロ4階調
P209i	100×120	96×91	モノクロ4階調
D209i	96×120	96×120	カラー256色

待受画像の機種別ベストサイズ

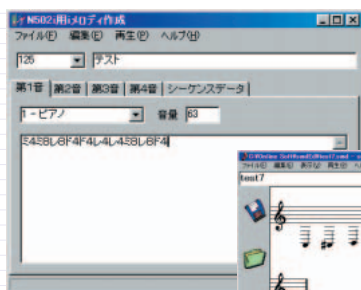


インターネットマガジン特製 待受画面をゲットしよう！
今回インターネットマガジンのホームページでは、白黒、カラーそれぞれ7点のオリジナル待受画面を用意した。ぜひあなたのiモードに設定してほしい。アニメーション画像もあるぞ！

internet.impress.co.jp/kiji/ooogi/

着メロにはこのファイルを用意

502iシリーズからはウェブページから着メロをダウンロードして利用できるようになった。「mld」という形式のファイルをウェブに置いて、<A>タグでリンクすれば、だれでも簡単に着メロサイトを始められる。mld形式のファイルを作るには、下のような専用ソフトを利用するのが簡単だ。機種ごとに和音数や音域が違っているが、いろんな機種で再生できるようにするには、3和音、3オクターブ程度で作成するのがポイントだ。iモードメニュー以外の着メロサイトの多くは、歌謡曲やアニメ、ゲームなどの曲がダウンロードできるようになっているが、これらはすべて著作権法違反。きちんと使用料を払うか、自分のオリジナルの曲でチャレンジするようにしよう。なお、mld形式はドコモから正式な仕様が公開されているわけではなく、動作は保証されない。



smdEd Ver.2.16

本来はJ-PHONE用の着メロソフト。mld形式も読み書きができる。楽譜入力のみに対応。J-PHONEとiモードの両方の着メロを作りたい場合に選ぶといいソフトだろう。

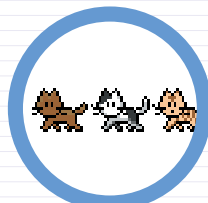
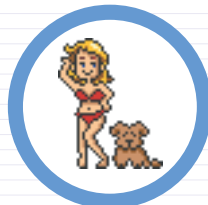
作者：KNDH
種別：シェアウェア500円
動作環境：ウィンドウズ95/98
 tech.millto.net/~pngnews/kndh/



iモード対応全タグリファレンス

□の部分には、502iシリーズ、209iシリーズで対応

分類	要素	機能	属性	属性の値	属性の機能	
基本	HTML	HTML文書全体				
	HEAD	文書の情報				
	TITLE	文書全体の表題				
	BODY	文書の内容		bcolor	色 1	背景色
				text	色 1	文字色
				link	色 1	リンクの色
	H1 ~ H6	見出し		align	left/center/right	左寄せ、中央寄せ、右寄せ
	P	段落		align	left/center/right	左寄せ、中央寄せ、右寄せ
	DIV	ブロックの指定		align	left/center/right	左寄せ、中央寄せ、右寄せ
	BLOCKQUOTE	引用				
	PRE	整形済みテキスト				
	HR	水平線		align	left/center/right	左寄せ、中央寄せ、右寄せ
				size	数値	水平線の太さ
				width	数値	水平線の幅
noshade				なし	水平線の影を消す	
CENTER	中央寄せ					
BR	強制改行		clear	all/left/right	画像の周りの回り込みを解除	
リンク	A	リンク	name	文字列	リンク目的に名前を付ける	
			href	URL	リンク先のURL	
			accesskey	0 ~ 9、*、#	数字キーと連動	
BASE	リンクの基準		href	URL	基準となるURL	
画像	IMG	画像	src	URL	画像ファイルのURL	
			align	top/middle/bottom/left/right	上寄せ、上下の中央寄せ、下寄せ、右寄せ、左寄せ	
			width	数値	画像の幅	
			height	数値	画像の高さ	
			hspace	数値	画像の左右の余白	
			vspace	数値	画像の上下の余白	
			alt	文字列	画像の代替文字	
			border	数値	画像の枠	
リスト	UL	順不同リスト				
	OL	番号付きリスト	type	1/a/A	番号の形式	
	LI	リスト項目	start	数値	開始番号	
			type	1/a/A	番号の形式	
	DL	定義リスト				
	DT	定義リストの用語部分				
DD	定義リストの記述部分					
文字の装飾	FONT	文字の色	color	色 1	文字色	
	BLINK	点滅				
	MARQUEE	スクロール	direction	left/right	右から左、左から右	
behavior			scroll/slide/alternate	動き方 (繰り返し、画面の端で停止、往復)		
loop			数値	繰り返し回数		
フォーム	FORM	フォーム	action	URL	フォーム送信先のCGIプログラムのURL	
			method	get/post	CGIプログラムにデータを渡す方法	
	INPUT	フォームの入力項目	accesskey	0 ~ 9、*、#	数字キーと連動	
			checked	なし	チェックボックスとラジオボタンをチェック済みにする	
			istyle	1 ~ 4	テキストボックスの入力モード	
			maxlength	数値	テキストボックスとパスワードに入力できる最大文字数	
			name	文字列	項目名	
			size	数値	テキストボックスの幅 (文字数)	
			type	checkbox/hidden/password/radio/reset/submit/text	コントロールの種類 3	
	value	文字列	項目の値			
	OPTION	選択リストの項目	selected	なし	項目の初期状態を選択済みにする	
	SELECT	選択リスト	name	文字列	項目名	
			size	数値	表示する行数	
multiple			なし	複数選択可能		
TEXTAREA	複数行テキストボックス	name	文字列	項目名		
		rows	数値	行数		
		cols	数値	幅 (文字数)		
テーブル	TABLE	表組み	align	left/center/right	表の左寄せ、中央寄せ、右寄せ	
			border	数値	枠の太さ	
			cellpadding	数値	セル内容と枠の間の空白	
			cellspacing	数値	セルとセルの間の空白	
			width	数値 (%)	表の幅 (ピクセル数または%)	
	CAPTION	表の説明	align	top/bottom	説明の表示される位置 (上、下)	
	TR	表の行	align	left/center/right	行中のセルの左寄せ、中央寄せ、右寄せ	
			valign	top/middle/bottom	行中のセルの上寄せ、上下の中央寄せ、下寄せ	
	TH、TD	表のセル (THは見出しセル)	bcolor	色 1	行の背景色	
			align	left/center/right	左寄せ、中央寄せ、右寄せ	
			valign	top/middle/bottom	上寄せ、上下の中央寄せ、下寄せ	
			rowspan	数値	セルを下方向に連結	
			colspan	数値	セルを右方向に連結	
width			数値 (%)	セルの幅 (ピクセル数または%)		
height			数値 (%)	セルの高さ (ピクセル数または%)		
nowap	なし	内容を折り返さない				
bqcolor	色 1	セルの背景色				

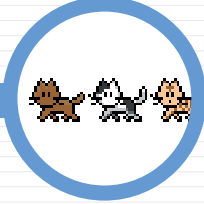
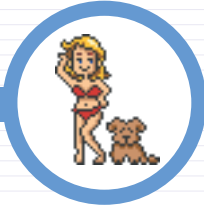


1 #RRGGBB形式の16進数、または「red」などの色名で指定 2 1: 全角かな、2: 全角カナ、3: 英字、4: 数字
 3 checkbox: チェックボックス、hidden: 隠し項目、password: パスワード入力、radio: ラジオボタン、reset: リセットボタン、submit: 送信ボタン、text: テキスト入力 4 「P」で始まる機種などでは対応していない



誰もが知りたかった!

iモード対応 ホームページ改造術



iモード対応

ホームページ作成ソフトの 実力チェック

ページを更新し続けるには、HTMLの知識だけではなく、ソフトを使いこなして効率よく作成することも必要だ。ここでは主要な3つのiモード対応ソフトを紹介しよう。付録CD-ROMには各ソフトの体験版を収録してあるので、使い心地を試してみるといいだろう。

ホームページ・ビルダー 2001

定番のソフトも最新版でiモード対応となり、「夏のiキャンペーン ボーナスクD」にはiモード用画像変換ソフト「iフォト・ビルダー」も付いている。定番だけに高機能で、パソコンとiモードの両方のページを作る人にはおすすだ。サイト管理まできちんとしてくれる点も見逃せない。ただし、高機能ゆえにメニューなどが複雑で、初心者にはやや敷居が高いかもしれない。ある程度HTMLの書ける人には間違いなくおすすめだ。

発売：日本アイ・ビー・エム（株）

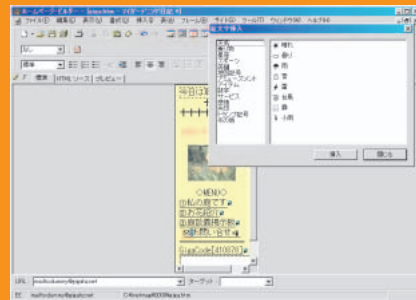
価格：14,800円

動作環境：ウィンドウズ95/98/NT 4.0/2000

www.ibm.co.jp/software/internet/hpb/

体験版 CD-ROM 収録先

- Trial Win Hpb2001 (ホームページ・ビルダー 2001)
- Trial Win lpb (iフォト・ビルダー)



i.ホタルパーソナル

最も古くからあるiモード用ページ作成ソフトの最新版。サイトの容量を教えてくれたり、すでにあるウェブページをiモード用に交換したりするツールもある。簡単にページが作成できるウィザード機能もあり、初心者でも楽しくiモードページが作れる。ただし、502iシリーズに対応しておらず、画像も白黒に変換されてしまう。iモードページ作成の便利ツールが満載のソフトだけにこの点は残念だ。

発売：デービーソフト（株）

価格：9,800円

動作環境：ウィンドウズ95/98/NT 4.0/2000

www.db-soft.co.jp

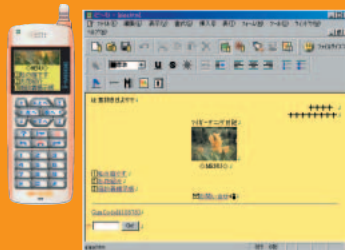
体験版 CD-ROM 収録先

- Trial Win lhtotal



iど~も!

i.ホタルパーソナルとよく似た感じのソフト。こちらはカラーに対応しており、また常にプレビュー画面が表示されているため、編集しているページの状況をリアルタイムで見ることができる。ただしこのソフトにはパソコン用のページ作成機能はなく、iモードページ専用となっている。パソコン用の作成ソフトは必要なく、簡単に安くiモードページを作りたい人はこのソフトを選ぶのがいい。十分以上に満足のできるソフトだ。



発売：ネットファーム・コミュニケーションズ（株）

価格：3,980円

動作環境：ウィンドウズ95/98/NT 4.0/2000

www.netfarm.ne.jp

体験版 CD-ROM 収録先

- Trial Win Idomo



上手な宣伝で アクセス数アップ!

ホームページを作ったからには、できるだけ多くの人に見てもらいたいもの。アクセス数アップの秘訣には、パソコン用のホームページと共通することもあるが、iモードページならではの検索サイトやサービスを利用すれば、効果的な宣伝ができる。

検索サイトに登録しよう

アクセスを増やすには、やっぱり検索サイトに登録することが第一だ。大手サイトから個人サイトまで、現在200以上の検索サイトやリンク集が存在する。右の表に挙げたメジャーな検索サイト以外にも、マメに探して、登録をしていくことが重要だ。登録するときには「着メロ」や「出会い」のようなよく使われる単語をキーワードにしても意味はない。自分のサイトを的確に効果的に表すキーワードを考えて登録するようにしよう。

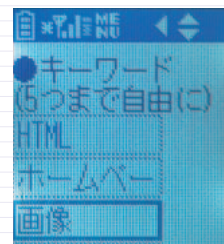
検索サイトに登録すると一気にアクセスは増える。しかし、一度来てくれた人でも興味のある情報がなかったり情報が古かったりすると、すぐに別のページに飛んでいってしまう。検索サイトに登録してからは特にこまめに更新して、ほかのサイトとの差別化をはかることを心がけよう。

主なiモード用検索サイト

サイト名	KJump	ギガコード	特徴
Yahoo!モバイル	mobile.yahoo.co.jp	418225	My Yahoo!など、PCサイトとの連携がある。登録はやや難しめ。
i-see	iseek.infoseek.co.jp	412036	全ジャンルから平均的によいサイトを選んでいる。
あちゃらGATE	www.acaragate.com	416966	メニューリストのPocketSIZEからあちゃらコード「11111」でアクセス可能。
OH! NEW? iサーチ	ohnew.co.jp/i/s/	414114	サイトの登録件数が最大。
I-CON SEARCH	www.webremix.com/i/	411000	いまだきキーワード、J-Sky、Ez対応など、独自の切り口やコンテンツにより差別化を図っている。
iYappo	i.yappo.ne.jp	415280	ディレクトリーとロボットサーチの両方を備えているのは唯一ここだけ。
inavi	inavi.to	417771	比較的新しめのサイトの登録が多い。
i-Land Search	www.i-landfactory.com/i/s/	415058	シンプルな作りの検索サイト。
厳選.com	www.gensen.com	411030	可能な限りバケット量を節約できるよう厳選したサイトだけをリンクしている。



大手のiモード用検索サイトの1つ、I-CONサーチ。



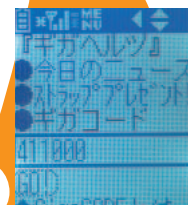
サイトに登録するときには、的確なキーワードを考えて入力しよう。

やっぱり基本は相互リンク

検索サイトや雑誌などで、同じジャンルや同じ切り口のサイトを作っている人を見つけたら、すぐにリンク依頼のメールを出そう。自分のほうでリンクを張っておいながら、「リンクしたので、できれば相互リンクをお願いします」とメールを送るのが基本。ただし「リンク厳禁」と書いてあるときは控えるなど最低限のマナーは守ろう。確かに相互リンクはアクセスを増やすことに役立つが、リンクを張るときの基本は、自分のページを見てくれる人や自分自身にとってサイトの使い勝手が上がって便利になるようにという方向で考えること。そうすれば、どういうページにリンクを張ればいいのかがおのずと見えてくるだろう。

ギガコードを取得しよう

ギガフロップス(株)の「ギガコード」は、ウェブ上のフリーなアプリケーションとして一般に公開されている。面倒なURL入力の代わりに6桁の数字を入力してページにアクセスする仕組みだ。ギガコードを取得していないサイトに比べて圧倒的にアクセスされやすくなる。現在約1万以上のコードが発行され、毎日3万回以上利用されている。どこの出版社も自由に掲載できるため、雑誌に載るチャンスが増える可能性もある。なお、インターネットナンバーの互換コード体系(LMコード、サイトナンバー)との互換性もあり、郵便番号を入力すると地図がでるなどの便利な裏技もある。



8月末まで自分のページにギガコードのジャンプ窓を付けたらストラップが当たるプレゼントを実施中。

KJump www.gigahz.net



人気ページに見る iモード化の成果

iモード向けのホームページを実際に作るうえで気を付けるべきポイントは何だろうか。すでにあるページをiモード向けにすると何が変わるのだろうか。だれもが知っている「あのサイト」をiモード化した人のケースを見てみよう。

「東京のラーメン屋さん」iモード化

開設以来、トップページだけで160万ページビューを突破している人気サイト「東京のラーメン屋さん」は、昨年10月iモードに対応した「iとらさん」をオープンした。豊富なコンテンツをそのまま移植したことで、話題になっている。まさにモバイルにぴったりのコンテンツをiモード化したときのポイントなどを、ウェブマスターの大崎裕史さんと市川健二さんにお伺いした。

「iモードからのアクセスはこのところ増えてきています」とのことだが、お店へのコメントの表示を加えたことと無関係ではないだろう。豊富な情報はそれだけで人を引きつける。「iとらさん」の場合は、もともとまとまったデータベースがあったことが素晴らしい結果に結びついている。

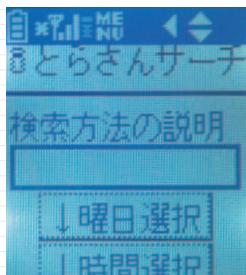


iとらさんのウェブマスター大崎さん(左)と市川さん(右)

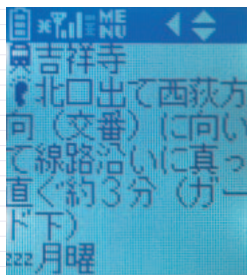
www.torasan.com/i/



現在の「東京のラーメン屋さん」。東京のラーメン店だけで、1800店を網羅しているデータベースと膨大な口コミ情報を有する掲示板がメインのコンテンツだ。



iモード化された「iとらさん」のトップページ。検索機能を中心としたシンプルな作りだ。



検索結果の画面。住所、道案内、営業時間、電話番号に加えてコメントが表示される。

ウェブマスターに聞く

どこをiモード化したか

データベースのデータをそのまま使い回せることから「とらさんサーチ」をiモード化することに決定。パケット課金に配慮して、初めは店の名前と住所と電話番号だけを表示することにした。

リニューアルでパワーアップ

今年5月に、要望の多かった「お店へのコメント」をiモードページで表示することにする。技術的にはとくに苦労した点はなかった。

iモード化の反響は

アクセス数は、1日1000アクセスくらい。ユーザーからは「外出先で調べられるので便利」、「行き方が載っているため地図なしで行ける」、「やっぱり地図を入れてほしい」という声がある。「ランキング」(人気投票)をiモードでできるようにしてほしいという要望も来た。

どんな人が見ているか

PC利用者がiモードも使い始めた、というパターンが圧倒的に多いと思う。iモードで始めて知ったという人も最近が増えている。

今後の展開

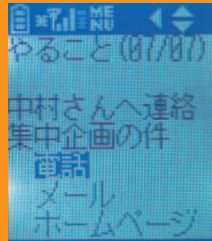
EZウェブやJ-Skyなどへも対応してみたいものの、確認するための端末が身近にないところがハードルになっている。



iモードを自分専用のメモ帳にする

iモード用ページを一般に公開するだけでなく、自分自身や友達のために活用する方法を考えてみよう。HTMLをテキストエディターで書いて、ホームページ用のサーバーに置くだけで、手のひらサイズで容量はほぼ無制限のメモ帳ができる。

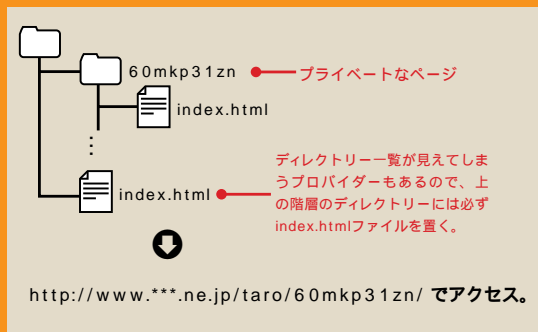
iモードでは、端末の中に保存しておけるメールなどの容量は小さい。しかし、ウェブを閲覧できるということは、無限の情報をインターネットの中に保存しておけるということだ。ちょっとした自分用のメモやメールアドレスの一覧をパソコンで作ってホームページにアップロードしておけば、どこからでも好きなときに呼び出せるようになる。しかし、ウェブ上のデータは関係ない人から見られてしまうおそれがある。この危険を防ぐには、どうすればいいだろうか。



メールや電話番号へのリンクというiモードならではの機能を使えば、さらに便利になる。

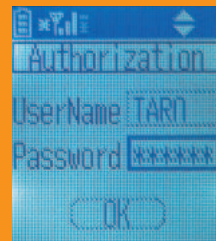
① 複雑なURLにする

トップページのURLが公開されていても、その下に何が置かれているかは、リンクされていない限り外からはわからない。そこで、ディレクトリー（フォルダー）に「op45zjm19」のようなパスワード風の名前を付けて、その下にプライベートなファイルを置くのが手軽で簡単だ。複雑なURLをiモードで入力するのは面倒なので、自分のiモード宛てにURLを含んだメールを送り、メールからアクセスしてブックマークに入れておくといいだろう。ただし、この方法は100%安全とは言えない。だれかが偶然そのURLを入力すれば、丸見えになるからだ。



② ページにパスワードをかける

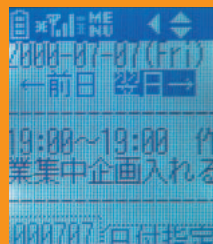
もっと安全なのは、パスワードを入力しないと見られないページにすること。ユーザーホームページでパスワード制限をかけられる主なプロバイダーには、BIGLOBE、DTI、ぶらら、JustNetがある。DTIとJustNetはIDとパスワード用のファイルを自分で作成しなければならず、かなり面倒。BIGLOBEとぶららでは、ウェブ上からIDとパスワードの設定ができるので便利だ。パスワード用の文字を数字だけすれば、iモードからの入力が楽になるが、パスワードがばれる危険性は高まることを覚えておこう。



iモードはパスワード付きページに対応している。

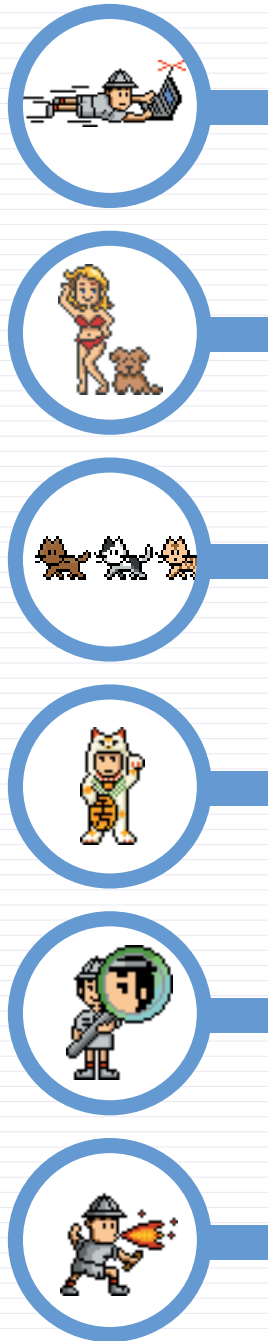
③ PIM サービスを使う

さらに手軽で安全性の高いのが、無料のiモード向けPIMサービスを使うこと。自分のホームページがパスワードに対応していなくても、個人情報をウェブにおいて参照できるようになる。無料PIMサービスには、スケジュール管理専用の「まいページ」や、ウェブメールやアドレス帳もある高機能な「DoSule!」(ドースル)がある。どちらも指定された専用のURLを使えば、面倒なIDとパスワードの入力なしにログインできる。このURLはiモードにメールで送信できるので、メールからアクセスしたらブックマークに入れておけばいい。



まいページのスケジュール閲覧画面。

DoSule!
www.dosule.com
 まいページ
www.mypage.ne.jp





本格派 iモードサイトの 運営術

いよいよスタートした自分のiモードページ。高度なサイト運営の手法としてメールマガジンを利用したり、継続的なサイト運営を維持するために収入を得たりすることも考えたい。多くのユーザーに支持されるサイトになれば、プロデビューも夢ではない。

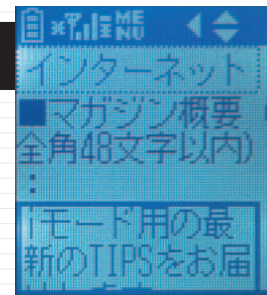
メールマガジンとページを連動させる

iモードページの運営に立体的を持たせるには、メールマガジンを発行する手もある。ユーザーが便利になるだけでなく、自分のサイトに固定客が何人いるのかを知る大きな目安にもなる。メールマガジンの発行には、下の表のような発行サービスを利用するといいい、iモード上から送れるものもある。iモードメールでは残念ながら250文字までしか送れないので、本文最後にURLを挿入して続きはウェブページで読ませるなどの工夫が必要だ。携帯電話向けメールマガジンに関する情報は、メーリングリスト「マグヘルツ」で収集できる。

gigahz.net/ml/maghz.cgi

メールマガジン発行サービス

サイト名		iモードからの発行	特徴
メルモ	www.merumo.ne.jp/i/	可能	携帯電話向けメールマガジン発行システムとしてはもっとも使われている。iモードでの発行を正式にサポートしているのはここだけ。
まぐまぐ	www.magz.com/i/	非対応	PCの世界では圧倒的なまぐまぐだが、iモードから発行できないなど、やや後塵を拝している。
Pubzine	www.pubzine.com/pda/	可能	ハンドヘルド機向けに用意されているPDAモードはiモードで利用可能。発行もできる。



メールマガジンサービス「メルモ」の発行者登録画面

バナー広告で収入を得る

趣味だけで運営できるのは最初の3か月ぐらい。それ以上運営するとなると、やっぱり金銭面などほかのメリットも欲しくなってくるもの。1か月の携帯電話代プラスアルファぐらいを求めるとすれば、**バナー広告**をトップページに貼るだけでも可能性は開けてくる。ただし、バケット量に厳しいiモードのユーザーは、画像が重たいページや広告が多いページは避ける傾向がある。そうした傾向に負けないコンテンツを作らなければならない。また、あまりにサイトの内容とかけ離れたバナー広告や、品のない広告は避けたいもの。このあたりは広告代理店の担当の人にしっかりとサイト運営の主旨を伝えて、お互いにメリットがあるようにしていく努力が必要だろう。

個人サイトでも掲載を申し込める携帯端末向けの広告配信は、ValueClick が「MobileClick」として試験中だ。広告の形は、8文字×2行のテキストになる。広告が押されるたびに、1クリックにつき15～30円の収入になる。なお、MobileClickを利用するには、CGI (Perl) が使えるサーバーが必要だ。

www.valueclick.ne.jp/service/mobile.html

! プロデビューするには

サイト運営も1年ぐらいすると、ノウハウが溜まってくる。しかし、個人レベルで課金インフラの業者と交渉して課金やユーザー管理を行ったり、自分のコンテンツの権利を守っていくことは困難な作業だし、時間がかかることでもある。「エージェント契約」という方法によって、そういった個人クリエイターを支援し、コンテンツによる売り上げをバックアップする会社も存在する。本気でコンテンツをお金に換えていきたい人は、筆者の運営するギガフロップス(株)のような、エージェントビジネスを展開している会社にアプローチして、コンテンツ作りに集中することを検討してみることをオススメする。ウェブ対応携帯電話のマーケット拡大のスピードはすさまじく、来年の3月には2000万人に手が届くのではという急成長ぶりだ。しかし現在、パソコンよりもユーザーが多いにもかかわらず、パソコンに比べて圧倒的にコンテンツは少ない。コンテンツの需要はこれからますます上がっていくことが予想できる。



iモードオフィシャルサイトとは

iモード用ページを作って「勝手サイト」の運営者になると、どうしても気になるのが「オフィシャルサイト」の存在だ。現在、iモードの「iメニュー」に登録されているオフィシャルサイトの数は約900となり、ジャンルも多岐にわたっている。オフィシャルサイトとは一体どういうサイトなのだろうか。その特徴をメリットとデメリットに分けて、下にまとめてみた。

勝手サイトと異なる最大のポイントは、やはり課金だろう。オフィシャルサイトであれば、月々の請求を通して100円、300円といった小額課金もほぼ確実に回収することができ、またユーザーも支払いに特別な手続きを必要としない。ビジネスを行ううえでは重要な要素となる。また、ユーザーIDと呼ばれる端末の識別番号が取得できるようになるため、ユーザー個人の識別が可能になる。通常のウェブでは考えられない精度で、マーケティングや広告に応用できるだろう。

とはいえ、勝手サイトとオフィシャルサイトの技術的

な違いはほとんどない。課金とユーザーID管理が加わるくらいで、ネットワーク構成もハードウェアもそのまま同様のシステムで対応できる。しかし、実際にオフィシャル

サイトを運営するとぶつかる壁が、大量アクセスによるサーバー負荷の増大だ。iメニューからのユーザーの大量流入は勝手サイトの10～50倍にもなる。うれしい悲鳴とも言えるが、こういった高負荷環境にも耐えうるインフラ構築やプログラム設計が重要になってくる。

サーバー環境を除いても、オフィシャルへの道は厳しい。実際に打診される企画は月に数千を超えとも言われており、採用の門が非常に狭い。本気でオフィシャルを目指すのであれば、すでにオフィシャルで実績を持っているコンテンツプロバイダーと一緒に企画を作成するのも1つの近道となるだろう。



iモードのオフィシャルコンテンツプロバイダーの1つ(株)サイバード。

www.cybird.co.jp

! iモードオフィシャルサイトの特徴

メリット

- 1 通信事業者 (NTTドコモ) によるユーザー課金代行から収入を得ることができる。
- 2 アクセスした端末の識別番号 (ユーザーID) が取得できる。
- 3 iメニューにリンクされる。

デメリット

- 1 コンテンツの正式採用までに時間がかかる。
- 2 内容に関する規制事項が多い。
- 3 広告ビジネスの規制はまだ強い。

! 進化するiモードに備えよう

1999年に突如出現したケータイインターネットの世界。瞬く間にパソコン向けのインターネットを凌駕する勢いで成長し、そのスピード感のほかのIT分野の比ではない。現在のiモードをはじめとした携帯電話は、「第2世代(2G)」と呼ばれているが、来年2001年春には「第3世代(3G)」の携帯電話が出現する。いわゆる「IMT-2000」規格の携帯電話だ。3G端末では、現在と比較すると40倍以上高速な通信速度をベースに、Javaの実装や動画圧縮技術MPEG4による動画配信、またBluetoothによる他機器との短距離無線通信など技術的な大革新が起こる。コンテンツの情報量は飛躍的に上昇し、ウェブサイトの表現もまったく変わっていくだろう。2003年までには液晶画面の精度もかなり高くなることが予想される。3G端末の技術の中でも特に革新的だと言われているのが、

この秋にも予定されているJavaの搭載だ。ご存じのとおり、プログラムの実行環境であるJavaが搭載されることで、アプリケーションが携帯電話上で動くようになるのだ。ゲームをiモード上で動かして通信対戦を行ったり、自分の好きなスケジュールソフトを組み込んだりすることもできる。しかし、ビジネスの観点で一番大きな可能性を秘めているのは、電子マネーを管理する「財布(ウォレット)」としての役割だろう。Bluetoothによる店頭レジとの連動を加味すると、いよいよ技術的な壁やユーザーの心理的な抵抗が取り払われそう。自分の財布としての携帯電話が実現することで、コンテンツの支払いも買い物も携帯電話でという世界が訪れる可能性が高い。携帯電話でのコンテンツビジネスにさらなる広がりを作り出すのが、次世代携帯電話の最大の魅力だ。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp